

# 理学療法士(P.T)

## 当施設の取り組みを紹介します

特別養護老人ホームである当施設では、身体機能改善のための激しいトレーニングは行いません

現在の身体機能を維持し、ベッドからの起き上がりや歩行など日常生活における基本動作が継続できるよう、動作の工夫や道具の使用によりサポートを行っています。

理学療法士からご利用者へのアプローチも大切ですが、日常生活のケアを担っている介護スタッフの支援の中に理学療法の技術や知識を取り入れることも重要です。ご利用者の身体活動の向上はもちろん、介護スタッフの負担軽減にもつながります。



折紙で楽しく手指の訓練



立ち上がり時の痛みをやわらげるため、足のむくみをとるマッサージ  
Physical (身体的) Therapist (治療する人) でPTと呼ばれています。

## ゆうすいのPTに あんなことや こんなこと 聞いてみました！

Q1. 利用者の皆さんとどのように関わっていますか？

A1. 移動を自分でしてみる、座る姿勢や寝ている姿勢を自分で直してみるなど、無理なく誰でも行える活動をリハビリとして促しています。

Q2. 仕事の上での課題、難しいと感じていることはありますか？

A2. 1人のご利用者に対して全員が同じ介護や介助を提供するためには同程度の知識や技術が必要になり、その習得が課題だと思います。

Q3. 理学療法士を志したきっかけを教えてください。

A3. 車椅子バスケをしている方々と一緒に過ごし、その生活を見て、お手伝いがしたいと考えたからです。

Q4. 趣味、休日の過ごし方を教えてください。

A4. 趣味は特にありませんが、休日のほとんどを地域のスポーツ少年団の野球少年・少女たちと体を動かして過ごしています。

Q5. ゆうすいの魅力を教えてください！

A5. 職員みんなが仲良く仕事ができるところが素晴らしいと感じています。

## 理学療法士ってこういう仕事です



ケガ、病気、高齢などによって運動機能が低下した状態にある方々に対して、運動機能の維持・改善を目的に運動や物理的手段（温熱、電気、水、光線など）を用いて治療を行う専門職。

身体の障がいに対しての治療であるため多くは医療現場での取り組みですが、最近では福祉やスポーツの分野にも取り入れられています。山形県には120を超える特別養護老人ホームがありますが、理学療法等が取り入れられている施設は30%程です。